

CASBEE® 広島

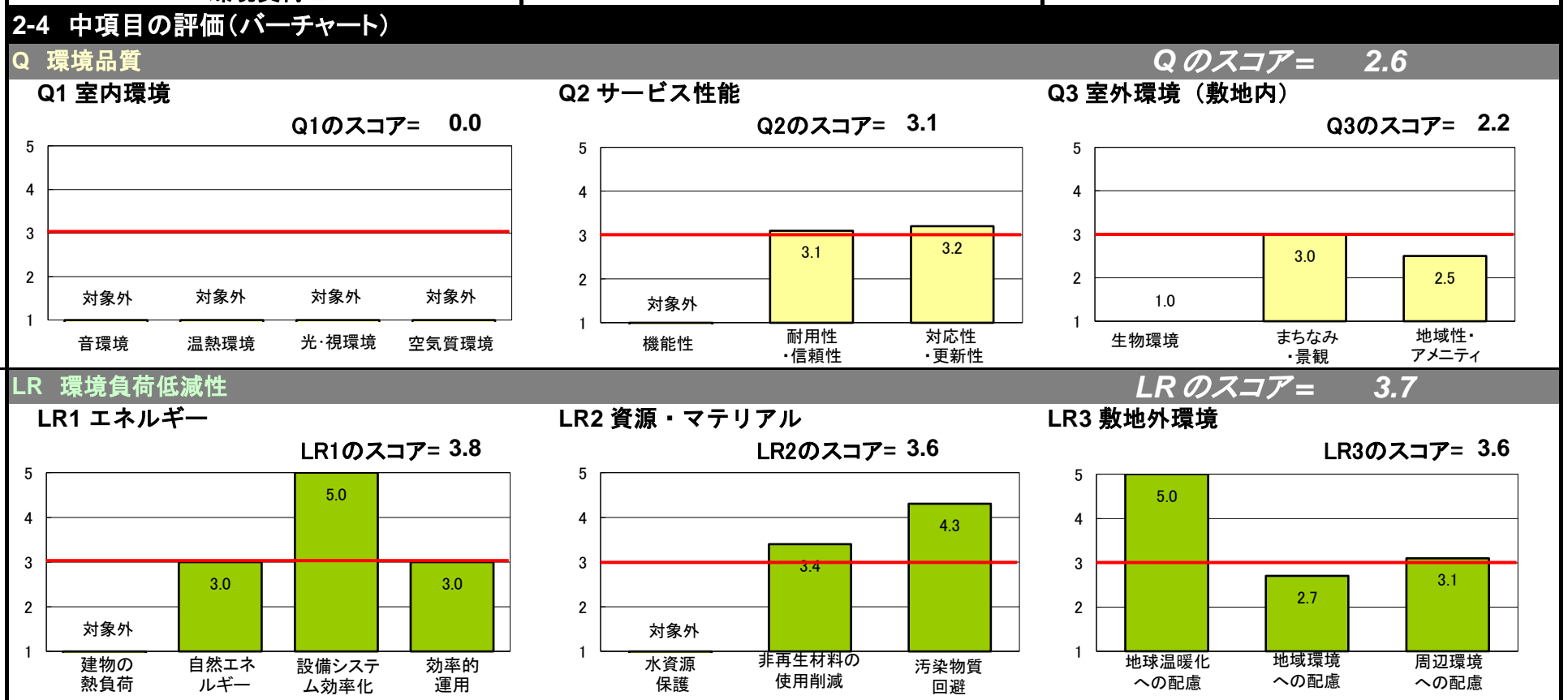
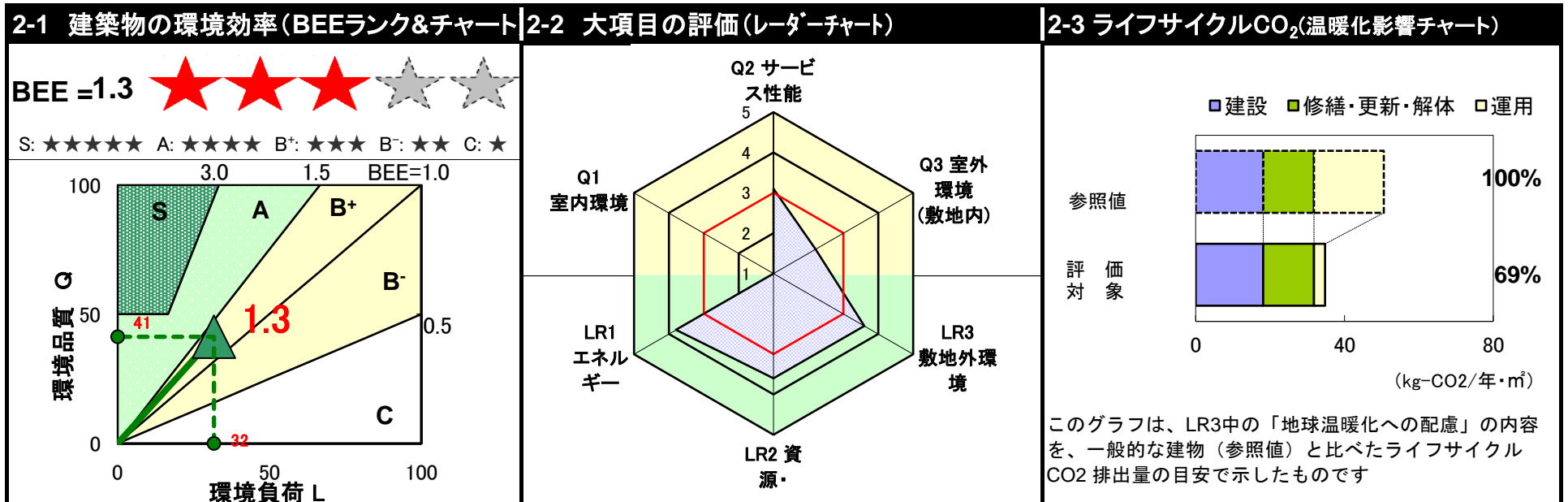
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|------------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)広島大学霞キャンパス立体駐車場新築 | 階数 | 地上3F |
| 建設地 | 広島市南区霞一丁目2番3号 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域 | 平均居住人員 | 0人 |
| 気候区分 | 地域区分IV | 年間使用時間 | 8,760時間/年 |
| 建物用途 | 工場 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2013年12月 予定 | 評価の実施日 | 2013年7月23日 |
| 敷地面積 | 136,612 m ² | 作成者 | 後 |
| 建築面積 | 2,042 m ² | 確認日 | 2008年7月30日 |
| 延床面積 | 6,056 m ² | 確認者 | |



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.3

| 「地球温暖化対策」の推進 | 「ヒートアイランド対策」の推進 | 「長寿命化対策」の推進 |
|--|--|--|
| スコア = 3.9 | スコア = 1.8 | スコア = 3.5 |
| <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>建物の外周面は、ほぼ全周にわたり開口を設けており、採光、通風が確保されている。LED照明を使用し、消費電力を削減する計画としている。照明設備配線には自動点滅装置を設け、必要時のみの点灯とし照明の効率、消費電力の削減を図る計画とする。床仕上げ材としてエコマークを取得している、ビニル床シートを使用する計画とする。隣棟間距離を4m以上確保し、風通しに配慮した配置計画とした。</p> | <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>建物周囲に緑化を配置し、また、周囲の既設 薬用植物園を残す事により、ヒートアイランド対策とした。病院周囲の道路における交通渋滞緩和の目的により計画した駐車場です。今後、周囲の交通渋滞が緩和され、渋滞待ちの車両のアイドリングによる、ヒートアイランド対策に効果があると考えています。</p> | <p>設計の計画上特段に配慮した事項</p> <p>駐車場棟の主要構造部(柱、梁)材は外部に露出する為、防錆処理として溶融亜鉛メッキ仕上げの計画としている。メッキ付着量はHDZ55(550g/m²)以上とする。電気配線は露出配線(配管)とし、配線更新、修繕の際、躯体(柱、梁、床)への影響を極力少なくし、建物機能を損なわない計画とした。</p> |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される